

# 予算特別委員会



委員長  
梅澤 佳一  
(自民)



副委員長  
小川真一郎  
(自民)



副委員長  
権守 幸男  
(公明)

令和8年度一般会計当初予算案などについて、部局別質疑が3月11日から13日、16日、17日の5日間にわたり行われ、19日には総括質疑が、24日には討論・採決が行われました。審査の結果21件を原案の通り可決すべきものと決定しました。

なお、一般会計当初予算案については、事業の執行に適切な対応を求める附帯決議を付すことを賛成多数により決定しました。

予算特別委員会は32人の委員で構成され、県の予算案を集中的に審査するために設けられました。部局別質疑において事業内容などを詳細に審査した後、総括質疑では13人の委員が登壇しました。

各委員の質疑に対し、一問一答の形で知事をはじめ執行部から答弁がありました。

## 部局別質疑から

## 主な質疑と答弁

### 介護人材の確保

**Q** 介護現場での人手不足の大きな要因は、他産業に比べて賃金が低いことと考えるが、どのような対策を講じていくのか。

**A** これまでの施策に加えて、令和8年度新たに、奨学金を返済しながら県内事業所で働く介護職員に対して奨学金返済支援を行う予算を提案している。本事業を通じて、若い世代の介護未経験者や他県の求職者に、本県の介護事業所を選んでもらえるよう促していく。また、本年6月には、臨時の介護報酬改定が予定されているが、処遇改善に関しては、今後も国に対して強く要望していく。

### 防犯カメラ整備事業の継続について

**Q** 大宮駅東口の防犯カメラ整備事業については、議会として、県の責任での継続を強く求めているが、今後どう取り組むのか。仮に、さいたま市などとの協議が整わない場合、県において事業を継続するのか。

**A** 大宮駅東口地区における防犯カメラの必要性は深く認識しており、さいたま市などと設置に向けた協議を継続している。協議が不調に終わることは想定していないが、令和8年12月までに協議が整わない場合は、さらに1年のリース延長が可能か検討する。

### 県立学校の体育館空調整備の推進について

**Q** 令和15年度までに整備が完了するとのことだが、整備費はどの程度か。また、部活動での使用に関するガイドラインは、いつ改定して周知するのか。

**A** 整備完了目標の令和15年度までの事業費は概算で、約310億円を見込んでいる。また、令和8年度の夏季間に合うよう、部活動でも使用できる運用に変更し、各学校に周知する。

### EBPM(\*1)を活用した事業レビュー(\*2)による事業の見直し

**Q** 事業レビューによる見直し額は、毎年度、おおむね一定額で推移しているが、EBPMを活用し、より踏み込んだスクラップ・アンド・ビルドを図るべきではないか。

**A** 今年度の事業レビューでは、基金の在り方や国・市町村との役割分担の見直しなど新たな視点を加え、当初見込んでいた成果が得られていないなど、EBPM上課題のある事業について見直しを行った。その結果、一般財源ベースで53.2億円の縮減となり、前年度の見直し額43.3億円を上回る一般財源を生み出した。今後も限りある財源を効果的に活用するため、スクラップ・アンド・ビルドをさらに進めていく。

### 県庁舎建て替え

**Q** 県庁舎再整備に当たっては、単なる建て替えではなく、現代の社会情勢や将来の姿を反映した計画にすべきと考える。業務効率の向上、防災拠点としての機能強化や職員の働きやすさなどを前提とし、将来を見据えた検討が必要ではないか。

**A** 埼玉県県庁舎再整備懇話会からも県民の安心・安全が最優先との意見をいただいている。また、DXの進展と働き方改革を融合させ、県民の利便性や職員の生産性・創造性の向上を両立させる視点も重要であるので、整備をきっかけに、こうしたことを来年度も検討していく。

## その他の主な質疑

### 部局別質疑から

- バーチャルユースセンターの運営
- 埼玉県歯科口腔保健センターへの支援
- RTK基地局の活用
- 物価高騰を踏まえた事業者支援の予算編成
- 計画的な県営住宅の建て替え

### 総括質疑から

- 未来型オフィスの整備
- 女性の活躍支援
- 行政のデジタル化の推進
- 教員の人材確保
- あと数マイル・プロジェクトの推進
- 観光施策の推進

総括質疑の詳細はこちら▶



### 用語解説

- \*1 EBPM  
エビデンス(根拠)に基づく政策立案。
- \*2 事業レビュー  
限られた財源や人材をより効果的な事業に重点的に配分するため、事業の見直しを行う取り組み。